

約について前回議会での議案取り下げ以降、本工事についての様に整理されたかの4点を一般質問。図書館内BGMの導入では、場所や時間などを考慮して前向きに検討したいとの答弁で、旧清掃工場跡地については地域住民皆様の不安を払拭する為、地質調査・土壌調査を実施するとの答弁を受けました。

### 山田 英一 議員

本町におけるデジタルディバイドの解消に向けての対策を一般質問しました。デジタルディバイドとは、インターネット等ICTを利用できる方と利用できない方との間に生じる情報格差のことです。答弁として「アクセシビリティの確保は必要不可欠な取り組みと考える。主に利用しやすいウェブ対策及び広報誌等紙媒体の充実等。」でした。デジタル時代だからこそ改めて新聞や広報誌のような紙媒体による情報発信力と質が問われます。町広報誌は毎月各戸配布されますが、より一層入手を容易にするためスパーやコンビニ等での設置を要望しました。

### 寺田 元昭 議員

平成31年最初の定例会です。平成31年度予算に関連した様々な事業の審議が行われました。子ども医療費助

成制度は、8月より償還払い制度から一部負担金(500円等)の支払いで済む制度に改正されます。これにより今まで以上に安心して県内の医療機関に受診していただけます。中学校給食において、食器、厨房機器などの取得も可決されました。自治会活動において、防犯上非常に重要である防犯カメラの設置についての補助金制度が実施されます。5月から新元号となり新しい時代となります。本町においても新しいまちづくりがはじまります。

### 村上 清司 議員

治水の安全度を高める為には「ためる対策」をより一層進める必要があると考えます。本町の取組に関しては、田んぼダムや阪手南自治会の協力を得て治水効果の高いため池を選定し雨水調整池として施工後利用されると聞いております。浸水被害が多発している状況を踏まえ、寺川の各支流の対応計画や本町の近年の降雨、被害の実績を分析しそれに基づく浸水対策等について計画的に進めることが必要と考え、本町としての「ためる対策」の今後の計画、また現在進められている工事の場所、内容やどの程度の貯留能力を計画しているかなどについて一般質問を行いました。

### 森井 基容 議員

予算審査特別委員会にて進行役を務めさせていただくと共に、審査内容について特に、新たに庁舎1階に設置される証明総合窓口に関連して、町民の利便性が向上し、明るい雰囲気となるよう他自治体を例に強く要望しました。また、新規事業を行えばどうしても経常収支比率等の数値が悪くなるのですが、町長自身が施政方針でも示されている「財政規律の堅持」と「持続可能な行政サービスの提供」というテーマを実現されるよう、今後の上下水道はじめ公共施設の維持管理に多額の費用を要するなどの観点からも強く指摘、要望しました。

### 安田 喜代一 議員

厚生建設委員会にて、十六面の町道認定について質問しました。この町道認定は今後決定される西竹田・十六面の地区計画(町の目指すべき将来に向けた土地の利用計画)で必要となるもので、この区域については、地区計画決定のために必要な道路整備等を町が行い計画決定後、工場等の誘致が行われる予定との説明でした。

本町の発展のためには、町内での雇用を創出し、人の流れを町外から

# 議会だより

## 平成31年 第1回定例会

発行 田原本町議会  
編集 議会編集委員会

### 議案概要

#### 《報告を受けた案件》

○町長の専決事項の指定についての報告  
公共下水道整備等工事請負の変更契約締結2件についての報告

#### 《可決した議案》

- 平成30年度田原本町一般会計補正予算(第5号)の専決処分報告(全員賛成)  
民生費737万円の増額で、地域介護・福祉空間整備等施設整備に係る認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業に交付するもの
- 平成30年度田原本町一般会計補正予算(第6号)の専決処分の報告(全員賛成)  
総務費2690万円の増額で、ふるさと応援寄附金の増加に伴う業務

平成31年田原本町議会「第1回定例会」が3月4日から18日まで15日間の日程で開かれました。  
開会日の3月4日には森町長が予算の施策方針、提出議案について説明。会期中、各議案について慎重に審議が行われ、3月18日に閉会しました。

#### 委託料及び基金積立金の増額

##### ○平成31年度各会計当初予算

予算審査特別委員会を設置し、2日間審査しました。予算の概要は広報4月号をご覧ください。

- 田原本町一般会計予算、田原本町国民健康保険特別会計予算、田原本町後期高齢者医療特別会計予算、田原本町介護保険特別会計予算、田原本町水道事業会計予算(賛成多数)
- 磯城郡介護認定審査会共同設置特別会計予算及び田原本町下水道事業会計予算(全員賛成)
- 平成30年度田原本町一般会計補正予算(第7号)(全員賛成)  
補正予算額は、2785万円の減額、主な内容は増額分が民生費292万3千円の増額で、保険基金安定繰出金及び財政安定化支援事業繰出金の確定によるもの、農林水産業費622万円の増額で地籍調査測量業務委託料、商工費247万9千円の増額で消費税率引き上げによる低所得者・子育て世帯の消費に与え

る影響を緩和し、地域における消費を喚起・下支えする目的のプレミアム付き商品券発行に伴うコンピュータシステム改修等業務委託料など、減額分が衛生費394万7千2千円の減額で清掃工場解体工事請負契約の変更によるもの

##### ○平成30年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)(全員賛成)

補正予算額は2137万7千円の増額で、国民健康保険事業費納付金の増額及び平成29年度療養給付費負担金の精算による国庫支出金返納金等に伴う補正を行うもの

##### ○田原本町森林環境整備促進基金条例(賛成多数)

平成31年度より、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備の促進に関する費用を用途とする「森林環境譲与税」が国から譲与されることに伴い、その費用の財源に充てる基金を設置するもの

##### ○田原本町附属機関に関する条例の一部を改正する条例(全員賛成)

旧清掃工場周辺の町所有の土地及び建物、又は既に実施している事業が環境に及ぼす影響を専門的な見地から調査し、客観的な視点により取りまとめた意見を基に、適正かつ確実に環境問題に取り組むための基礎的方向性を確保するため、旧清掃工

町内に変えることが重要であると考えます。本町の活性化を図り住みよいまちづくりのために道路整備等を計画的に進める必要があります。

### 古立 憲昭 議員

一般質問にて、第4次総合計画の第1章「子育ての願いをかなえるまちづくり」より子育て世代の負担軽減、定住施策の一環として、また教職員の負担軽減の為、学校給食の無償化並びに一部補助についてを問う。第2章「健康で安心な暮らしをささえるまちづくり」より熱中症対策として学校及び町の公共施設(特に本庁舎)に於ける冷水の提供についてを問う。また、高齢者の健康づくりではサロン活動やフレイル対策について現況を問う。

「妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書」を提出し全員賛成にて可決頂きました。



議会を傍聴してみませんか  
次回定例会は、6月上旬に開催します。

問い合わせ先  
議会事務局(☎34・2119)

場周辺環境問題調査委員会を町長の附属機関として設置するもの  
○職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例(全員賛成)  
長時間労働の是正のための措置として、超過勤務命令を行うことができる上限を定める等の措置を講じる人事院規則の改正に伴い、所要の改正を行うもの

- 田原本町子ども医療費助成条例等の一部を改正する条例(全員賛成)  
未就学児に対する医療費助成等を、自動償還払い方式から現物給付方式に変更し、平成31年8月診療分から実施するための改正を行うもの
- 田原本町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例(全員賛成)

《採択とした意見書》  
第1回定例会で採択とした意見書は以下のとおりで、関係団体へ提出しました。

意見書	提出議員
妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書(全員賛成)	古立憲昭議員



学校教育法の一部が改正され新たに専門大学が創設されたことに伴う、関係水道法施行令及び水道法施行規則の改正により、水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準の変更等、所要の改正を行うもの

○田原本町清掃工場解体工事請負契約の変更契約締結について（全員賛成）  
賛成

旧清掃工場周辺の環境に対する地域住民の不安を一掃するため、旧清掃工場周辺の地歴及び土壌の状況等を把握し、地下構造物の撤去指針を定める調査の実施に向け、構造物撤去の解体範囲のうち、地下構造物の解体撤去を要しない工事費を減額する変更契約を締結するもの

○田原本町道路路線の認定について（全員賛成）

開発寄附等による5路線の認定を行うもの

○財産の取得について（全員賛成）

田原本中学校及び北中学校給食厨房機器等を契約金額6523万2千円で、檀原市、モリモトより取得するもの

○財産の取得について（全員賛成）

田原本中学校及び北中学校給食厨房備品を契約金額1231万2千円で、檀原市、モリモトより取得するもの



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

植田 昌孝 議長

認定こども園検討特別委員会と議会改革特別委員会を設置し一年が経過いたしました。認定こども園は本年4月より事業が実施となり、議会改革ではこの間15回以上の会議が開かれ住民の皆様が開かれた議会を目指し取組を進めております。

さて3月定例会では毎年、新年度予算案の審議を行っています。議員7名を選出して予算審査特別委員会を設置し、町長より提案された新年度の施策の方針も含めた説明を求め、慎重に審議いたしました。また、8名の議員から一般質問があり、また意見書1件と議案22件について、慎重に審議いたしました。

西川 六男 議員

町財政の状態を示す将来負担比率が平成28年度の36・9が平成29年度には73・3に一気に悪化し、高ければ高いほど事業に使えるお金が少な

○財産の取得について（全員賛成）

田原本中学校及び北中学校給食食器及び調理器具等を契約金額971万4600円で、大和高田市、有限会社古山厨房より取得するもの

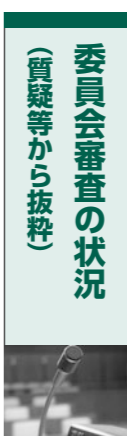
《選任した人事案件》

○奈良県広域消防組合議会議員の選出について

氏名 村上清司氏

任期 平成31年4月1日から

令和2年3月31日



《総務文教委員会》

質問 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について、業務上必要な事務を処理するため今まで超過勤務が行われてきたと思うが、上限が設けられることにより処理できない業務はどの様に対応していくのか。人員の増がありえるのか。

回答 超過勤務は増加傾向にあるが、今回設けられた超過勤務の上限を厳守するため、業務手法の見直し、業務の民間委託の推進、ニーズに対応した任用制度、例えば任期付職員や

臨時職員等の雇用、これまで以上に超過勤務の縮減に取り組むなど対応していきたい。

質問 財産の取得について、中学校給食開始に向けた食器及び調理器具等であるが、アレルギー対応についてはどのように取り組んだのか。また、災害時対応用のものは含まれるのか。

回答 アレルギー対応については小学校で実施している給食と同様の対応を予定している。災害時用の食器等は今回の購入には含まれていない。学校給食施設は災害時に調理場所として対応できる施設という位置づけで考えている。

《厚生建設委員会》

質問 田原本町子ども医療費助成条例等の一部を改正する条例について、未就学児が対象であるが対象の児童の範囲を小・中学生まで広げる見込みはあるか。

回答 システムの経費の面などから他府県の取組も参考に県内市町村と歩調を合わせて取り組んでいきたい。質問 田原本町清掃工場解体工事請負契約の変更契約締結について、12月定例会で撤回された議案と同内容で、今回の変更契約により地下埋設物及びピット部分が撤去対象となるが、将来的にはどの様に対応する予定か。

吉田 容工 議員

東小学校の平成31年4月の入学児童は7人です。東小学校区には田園居住ゾーンさえありません。これは町の土地利用計画の失敗であると感じ、抜本的な人口増対応を求めました。対策が出され効果が出るまでに時間がかかることから、東小学校を小規模特認校に指定することを提案しました。校区の制約を外して全町から来たい子どもを受け入れる小規模特認校制度は本町教育委員会が決めれば実施できます。東小学校の「ゲストティーチャー制度」「サマーチャレンジスクール」等魅力ある取り組みを多くの子どもに受けてほしいものです。

松本 美也子 議員

一般質問にて①児童虐待防止の体制整備の強化について②SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた取組について③プラスチックごみの削減の取組について、風疹の拡大防止についてを質問。答弁は①「こども家庭総合支援拠点」を設置し関係機関との連携強化に努める②職員研修の実施、平成31年度中に取組方針策定や自治体モデル事業の公募を検討③平成31年度中に「地球温暖化対策実行計画」を見直し引続きごみ

回答 新たに設置する旧清掃工場周辺環境問題調査委員会により調査を行い、その報告によって今後の方針を決定したい。

《認定こども園検討特別委員会》

担当課から報告 平成31年度保育所等入所調整状況について、平成31年4月の待機児童数は、国基準で1歳児の10名で1歳児の入所応募者数が前年度に比べ急増加したことによるものとの報告と、田原本町立認定こども園平野幼稚園の人事配置についての報告を受けた。

《議会改革特別委員会》

当委員会は、議会のさらなる活性化のために、一般質問の方式について1つの質問事項ごとに質問と答弁を行う「1問1答方式」を取り入れる提案書を議長宛に提出しました。

町議会ホームページを

ご覧ください

町議会ホームページでは、町議会のしくみや会議録など議会について情報発信しています。過去の議会だよりも見ることが出来ます。



削減に取り組むとのこと。

常任委員会では、災害備蓄品に液体ミルク、アレルギー対応のベビーフード等の追加について質しました。

小走 善秀 議員

本年4月から、待機児童解消をめざし平野幼稚園が3歳～5歳児の保育も行う幼稚園型認定こども園として開園され、また、0歳～2歳児までの（小規模保育所）すこやか保育園、さわやか保育園が開園されます。しかし、待機児童が10名見込みとの事。更に努力し待機児童解消を申し入れました。

明治維新後、大阪商工会議所初代会頭を務めた五代友厚の映画製作予定があり、その妻、豊子は本町出身で、NHK連続テレビ小説「あさが来た」でも登場した事からロケ地等で本町のPRをふるさと応援寄付金等を活用し協賛を行うとの事。応援しましょう。

梶木 裕文 議員

昨年7月より運行が開始されたタワラモトンタクシー事業の新年度予算においてどのような点を改善されたか。県が運用するドクターヘリと町の関係について。青垣生涯学習センター内の図書館内BGMの導入について。旧清掃工場解体工事請負契